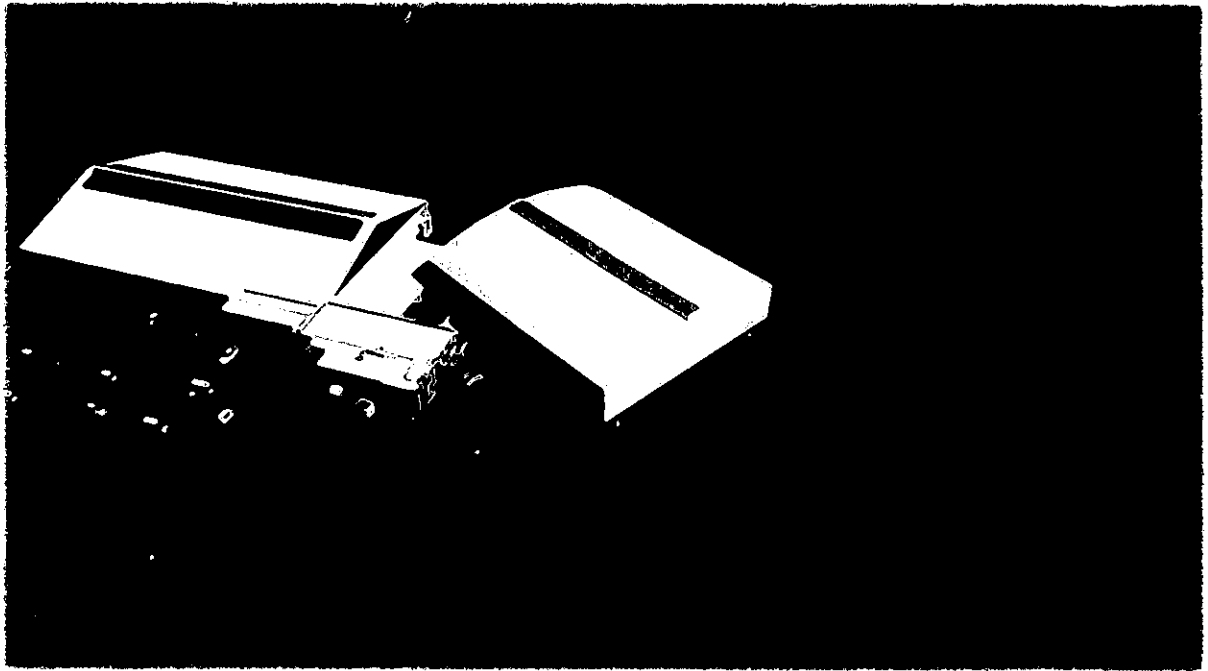


# 令和2年度 事業報告書

(2020年度)



公益財団法人 吉田記念テニス研修センター

# 令和 2 年度事業報告書

## 目 次

I テニス部門	
1. 普及プログラム事業（公益目的事業 1）	
アダルト・ジュニア	1
プロジェクト	3
2. 選手育成事業（公益目的事業 2）	
レベルアップ	4
フューチャーズ	5
ハイパフォーマンス	8
ハイパフォーマンス車いす	9
トーナメント	10
イベント	12
3. 指導者育成事業（公益目的事業 3）	
研修	13
4. フィットネス・ケア事業（公益目的事業 4）	
フィットネス・ケア	15
5. フロント	18
6. プロショップ事業（収益事業 1）	
プロショップ	20
7. 賛助会（Le Club TTC）事業（収益事業 2）	
賛助会	23
ヴォランティア	24
Le Club TTC	25
II 管理部門	
経理	27
広報	28
企画	30
施設管理	32
経営・その他	34
	全 35

## 2020年度（令和2年度）事業報告書(案)

### テニス部門

#### I. 普及プログラム事業（公益目的事業1）

##### 1. 総括

新型コロナウイルスの影響により、4月は休業、5月はプライベートもしくは少人数の予約制の限定レッスンで行った。通常のスクールは6月から再開となったが、3月末から5月末の期間で行う予定であった春の入会キャンペーンが最初の2週間で打ち切りとなり、スタートダッシュができず、苦しい1年となった。

主な取り組みとしては、不採算クラスの合併や閉鎖を行った。

##### 2. 実績

(1) 売上目標 181,607 千円 実績 156,597 千円 達成率 86.2% 目標比△25,010 千円  
（2019年度 実績 177,221 千円 対前年比△20,623 千円）

###### 内訳

###### ◇ アダルト

売上目標 129,149 千円 実績 109,446 千円 達成率 84.7% 目標比△19,703 千円  
（2019年度 実績 123,706 千円 対前年比△14,260 千円）

###### ◇ ジュニア

売上目標 52,457 千円 実績 47,151 千円 達成率 89.9% 目標比△5,306 千円  
（2019年度 実績 53,514 千円 対前年比△6,363 千円）

(2) 月平均人数目標 1,300 人 実績 1,270 人 達成率 97.7% 目標比△30 人  
（2019年度 実績 1,318 人 対前年比△48 人）

###### 内訳

###### ◇ アダルト

レギュラー目標 760 人 実績 752 人 達成率 98.9% 目標比△8 人  
（2019年度 実績 764 人 対前年比△12 人）

###### ◇ ジュニア

レギュラー目標 540 人 実績 517 人 達成率 95.7% 目標比△23 人  
（2019年度 実績 554 人 対前年比△37 人）

(3) フリーチケット&プライベートレッスン

###### ◇ フリーチケット

売上目標 8,442 千円 実績 5,523 千円 達成率 65.4% 目標比△2,919 千円  
（2019年度 実績 7,511 千円 対前年比△1,988 千円）

###### ◇ プライベートレッスン

売上目標 3,312 千円 実績 4,474 千円 達成率 135.1% 目標比+1,162 千円

( 2019 年度 実績 3,871 千円 対前年比+603 千円 )

- (4) 入会者数目標 250 人 実績 197 人 達成率 78.8% 目標比△53 人  
( 2019 年度 実績 230 人 対前年比△33 人 )

内訳

- ◇ アダルト 目標 100 人 実績 92 人 達成率 92.0% 目標対比△8 人  
( 2019 年度 実績 99 人 対前年比△7 人 )
  - ◇ ジュニア 目標 150 人 実績 105 人 達成率 70.0% 目標比△45 人  
( 2019 年度 実績 131 人 対前年比△26 人 )
- (5) 退会者数 目標 230 人 実績 225 人 達成率 102.2% 目標対比 5 人
- ◇ アダルト 目標 100 人 実績 112 人 達成率 89.3% 目標比△12 人  
( 2019 年度 実績 113 人 対前年比 1 人 )
  - ◇ ジュニア 目標 130 人 実績 113 人 達成率 115.0% 目標比 17 人  
( 2019 年度 実績 153 人 対前年比 40 人 )

(6) 新規入会&紹介キャンペーン

春と秋の 2 回、新規入会&紹介キャンペーンを実施した。

※春は新型コロナウイルス感染拡大防止による休講により 4/8 で打ち切り

目標 150 人 実績 91 人 達成率 60.7% 目標比△59 人  
(2019 年度 実績 163 人 対前年比△人 )

内訳

- ◇ 春 目標 80 人 実績 26 人 達成率 32.5% 目標比△54 人
- ◇ 秋 目標 70 人 実績 65 人 達成率 92.9% 目標比△5 人

3. 活動報告

- (1) 不採算クラスの合併・閉鎖を行った。
- (2) 楽楽テニスを 21 回開催し、平均が 21.3 人の参加があった。逆井テニスコート (柏市・市営コート) への出張教室を 23 回開催し、平均人 17.5 人の参加があった。

(3) イベント・トーナメント

〈アダルトプログラム〉

- KAZUKO 杯 38 組 (2019 年度 34 組)
- レディースチーム 中止 (2019 年度 12 チーム)
- TTC チャンピオンシップス 中止 (2019 年度 雨天中止)
- ステップアップダブルス (4 回) 64 人 (2019 年度 66 人/4 回)
- テニス合宿 中止 (2019 年度 16 人)
- 雑賀杯 TTC 予選 中止 (2019 年度 41 人)
- 車いすライオンズカップ 中止 (2019 年度 10 人)

〈ジュニアプログラム〉

- チャレンジマッチ (4 回) 164 人 (2019 年度 111 人/4 回)

- サンデージュニアマッチ (8回) 89人 (2019年度 119人/11回)
- ピヨピヨ親子ショートテニス教室 (2回) 102組 (2018年度 161組/2回)

#### (4) スタッフ研修

- 11月に他施設見学を行い、後日スタッフ研修の時間にアウトプットを行った。
- 1月に立石コーチが障がい者スポーツ指導員の資格を取得する予定であったが、緊急事態宣言により講習会が中止となった。

#### (5) 地域貢献

- 花野井小学校テニスクラブ 9/28・10/19・11/30 コーチ1人派遣
- 田中幼稚園テニスレッスン 11/18 コーチ3人派遣

### 【プロジェクト】

#### 1.総括

4月中旬から5月上旬に掛けて28日間に亘って、新型コロナウイルスの感染拡大により営業を停止した。また、再開後も状況を見ながら徐々にレンタルコート開放からレッスンに戻すまで3ヶ月を要し、結果4項目を活動計画に設定したが2項目は停滞した。

#### 2.活動実績

##### ①Play Sight

期初から、新型コロナウイルスの発生もあり稼働計画は目途が立たなかった。新型コロナウイルスの状況を見極めた上で改めて取組んで行くこととする。

##### ②情報収集活動

柏たなか地区の人口動向について調査した。直近1年では2,300人超の人口増加があり、柏北小学校の移転開校(2023年4月)も含め当面の人口増加は続く予定であり、引続き重点地域として施策を講じて行く。

TTCへの体験(38人)や入会(12人)に繋がっており、引続き遊育くらすのマーケットを含めた地域動向の把握に努める。

##### ③柏市との協力

柏市・市営コート(逆井運動公園)での楽楽テニス開催は、年間23回開催し延403人の参加があった。新型コロナが収束方向に進めば、30名超の参加者を確保し安定的な自主事業が期待できる。

##### ④他団体との協力

千葉県立矢切特別支援学校において知的障がい者を対象に自立活動をサポートし6回(延べ18時間)実施した。実施した内容は、スタッフ研修としてフィードバックし全員で共有した。

## II.選手育成事業（公益目的事業 2）

### 【レベルアップ】

#### 1.総括

今年度はコロナウイルスによる緊急事態宣言下での活動になり、企画していた多くのイベントが中止となった。大変な1年になったが、選手たちはコロナが理由でレベルアップを離れることはなく、今年度を終えることができた。緊急事態宣言中は動画を使って課題を作成し、週に1度は電話で状況確認を行うなど各コーチが選手とその家族とも繋がりを切らさないよう行うことができた。9月からは宿泊を含まないイベントは実施し、来年度以降の活動につなげられるようできた。引き続き感染拡大には十分注意して活動を広げていきたい。

#### 2.実績

(1) 在籍人数目標 24人 実績 23人 目標比-1人 (95.8%)

入会目標 10人 実績 16人 目標比+6人 (160%)

\*フューチャーズ入会テスト 9月：0人 3月：4人 合格

#### (2) 売上

会費売上目標 9,216千円 実績 7,363千円 達成率 79.9% 目標比 -1,853千円

会費外売上目標 360千円 実績 985千円 達成率 273.6% 目標比 +625千円

合計売上目標 9,576千円 実績 8,348千円 達成率 87.2% 目標比 -1,228千円

#### (3) イベント

①6月 レベルアップキャンプ 目標 20人 実績：中止

②8月 北軽井沢キャンプ

\*レベルアップからの参加者 目標 20人 実績：中止

③9月 筑波山登山トレーニング（フューチャーズクラスと合同）実績：中止

④11月 白子キャンプ（レベルアップキャンプに変更）実績：中止

⑤12月 対抗戦 11/28 参加 37人

#### (4) 保護者とのコミュニケーションと情報共有（全体ミーティング年間3回）

①4月： コロナの為中止

②6月： コロナの為中止

③9月5日： 活動指針

参加選手 21人、保護者 22人参加

個別面談を全家庭と実施

④全国選抜ジュニアテニス選手権大会のミーティングへの参加 コロナの為中止

⑤科学セミナー講師によるセミナーへの参加 コロナの為中止

#### (5) ヴォランティア活動への参加（ボールキッズとして大会をサポートする）

①全国選抜ジュニアテニス選手権大会 コロナの為中止

②かしわ国際オープンテニストーナメント コロナの為中止

③全日本選抜車いすテニスマスターズ コロナの為中止

(6) コーチ帯同

①7月：のびす大会（松原 TC）コロナの為、大会が中止

【フューチャーズ】

1.総括

今年度は新型コロナウイルスの影響により、予定をしていた大会や海外遠征、キャンプやイベントが中止となった。とくに全国につながる予選大会の中止はそれを目標に頑張っていた選手たちにとって影響は大きかったが、選手と保護者とコーチがしっかりとコミュニケーションをとり、心の支えとなり新たな目標設定を行うことでモチベーションを保ちプログラムを遂行できた。コロナ禍でも次のステージに向けてパフォーマンスの向上を図ることができ、来年度以降の活動につながることができた。引き続き感染拡大には十分注意して活動を広げていきたい。

2.実績

(1)売上目標 34,012 千円      実績 28,749 千円      達成率 85%      目標比 -5,263 千円

(2019 年度 実績 37,778 千円      対前年比 -9,029 千円)

(2)目標人数平均 38 人      実績 39 人      達成率 102%      目標比 +1 人

(2019 年度 実績 40 人      対前年比-1 名)

(3)選手実績

◇全国優勝タイトル

コロナの影響で大会が中止

◇全日本ジュニア出場選手目標

U16・18      5 人

U12・14      4 人      計 9 人

コロナの影響で大会が中止

◇関東ジュニア出場選手目標

U16・18      12 人

U12・14      6 人      計 18 人

コロナの影響で大会が中止

◇ITF ジュニアランキング保持者目標

男子 2 人

女子 3 人

\* ランキング保持者 (2020 年度末 ITF ジュニアランキング)

男子 1 人 前田透空(1609 位)

女子 1 人 古賀彩花(807 位)

◇フィットネスとの連携 (フィットネステスト全体平均評価値目標 3.0 点以上)

\* フィットネステスト結果

春 コロナ禍のため実施せず

秋 全体平均評価値 3.3 (男子 3.4、女子 3.0)

\*9月からテニスコーチとフィットネスコーチでペアになり担当グループを見ていくようにした。意見交換などのコミュニケーションも多く取れフィットネスとテニスがリンクして育成できるようになった。

### 3.教育指導実績

◇全体ミーティング (年3回実施=4月・9月・1月)

\*4月11日に予定していたがコロナ禍のため実施せず

\*9月5日実施 選手34人、保護者33人参加

コロナ対策として保護者1名の参加でhatドームにて行った

\*2021年2月11日実施 選手39人、保護者35人参加

コロナ対策として保護者1名の参加でhatドームにて行った

◇全国選抜ジュニアのシンポジウム (5月) \*U12・14の選手対象

\*コロナの影響で大会が中止のため実施なし

◇スポーツ科学セミナー講師によるセミナー (11月)

\*コロナの影響でセミナーが中止

◇雨の日を活用したレクチャー (随時)

\*5回実施 テニス向上に必要な知識と刺激を与えた

◇MFAの実施 (保護者にMFAへの理解を促し資格取得率を向上させる)

保護者の資格取得率90%以上

※MFA=Medic first Aid メディック・ファースト・エイドの略称 救命救急法

\*資格取得率97% (年度末) 36家族中35家族が取得・更新済み

### 4.キャンプ・強化練習会

(1) 白子キャンプ (年間2回)

\*2月20日,21日実施

参加:フューチャーズ選手31人

コーチ:森、穂積、蚊口、吉田、吉部、勝原、立山

コロナ対策として選手は宿泊なしで日帰りの特別練習会という形で実施した。

県ジュニアに向けて担当コーチ全員とフィットネスコーチ3人という充実した

スタッフングで実施でき良い練習ができた。

(2) 北信越交流会 (年間2回=5月、12月)

コロナ禍のため実施せず

(3) 北軽井沢キャンプ (7月下旬)

コロナ禍のため実施せず

(4) フランスキャンプ (8月下旬)

コロナ禍のため実施せず



(5) 筑波山トレーニングキャンプ (9月)

コロナ禍のため実施せず

(6) TTC 主催による ITF ジュニア海外遠征 (6月)

コロナ禍のため実施せず

(7) トーナメント帯同実績

① 全国大会とその全国大会につながる関東/県予選

コロナの影響で大会が中止

② 主要なグレード大会 (ピーナツカップ・KTA 杯・千葉 U18)

\* 11月 KTA 杯帯同

例年 18歳以下のカテゴリーのみであるが今年度は全カテゴリーで行われた。

帯同: U14/16 (高崎) 蚊口・穂積、U12 (白子) 吉田

出場: U16 前田透空 B8、細野暖 B16、齋田大成 2R

U14 石橋煌志 2位、杉本環 B4、戸邊悠真 2R、金子紗英 1R、釜野愛里 1R

U12 瀬戸佑介 1R、佐渡島陸 1R

③ 海外 ITF Jr (6月 ニューカレドニア、9月 韓国、1,2月 ニュージーランド)

コロナ禍のため実施せず

④ 国内 ITF Jr (10月 大阪 GA、10月 名古屋 G2、11月 神奈川 G5)

\* 11月 ITF Jr 松山 G5 帯同

予定していた大会がキャンセルになったため開催された ITF Jr 松山 G5 の帯同を企画し実施した。残念ながら ITF ポイントの取得はならなかった。

帯同: 蚊口

出場: 河野史門 Q1R、佐々野優香 Q1R、釜野愛里 Q1R

⑤ 国内 ATF (6月 山梨、11月 山梨 or 佐賀)

コロナ禍のため実施せず

(8) 国際ステージにチャレンジしていく選手に特別なサポートをしていく

4月よりプロテニス選手を目指し活動していく「ジュニアトランジットプロジェクト」をスタートさせた。このプロジェクトに女子選手1人が参加していたがコロナの影響で ITF Jr の大会の中止が相次ぎ目標とした結果やランキングは出せなかった。プロジェクトは様々な課題から3月をもって一度中断することとなった。

(9) スタッフ育成状況

① 共通理解と認識の向上

毎週水曜の育成コーチミーティングにて練習の質の向上のために積極的な意見交換を行なった

② コミュニケーション能力の向上

「Daily Note」や「グループ LINE」を活用してコーチ間の情報共有のスピードを上げ選手の育成に役立てた。

③英語力の向上

森コーチ・吉田コーチ（2回）が TOIEC を受験した

④外部とのコネクション作りと情報収集

限られた試合の中ではあったが今あるコネクションからの広がりでは他県のコーチと繋がりを作ることができた

⑤S 級エリートコーチライセンスのアップグレード

今年度のアップグレードなし

⑥日本テニス協会主催レベルの講習会に参加する

コロナの影響で講習会がなかった

(10)テニス協会との協力

\*千葉県テニス協会への協力

・千葉ジュニア FYS カップ運営役員 8月9日 白子 稲葉派遣

・千葉ジュニアトップ8運営役員 9月21,22,26,27日 天台 森・稲葉派遣

(11) 海外のトーナメント/進学

2人の卒業生がアメリカの大学に進学した。UTR に関してはアップデートなし。

5.経費計画と実績

年間 100 千円を超える支出

\*KTA 杯 105 千円

【ハイパフォーマンス】

1.総括

新型コロナウイルスの影響で大会が開催されず、ツアー参戦できない1年であった。秋からは徐々に大会が開催されてきたが安全面を考慮し、ホームでの練習を希望する選手が多かった。2021年に向けて良い積み上げはできたが新型コロナウイルスの収束目途は立っておらず、引き続き世界情勢に注視しながらツアー参戦のタイミングを伺っていきたい。

2.実績

(1)売上目標 2,678 千円 実績 3,133 千円 達成率 117% 目標対比+455 千円

(2019年度 実績 2,408 千円 前年対比+725 千円)

(2)目標人数 4名 実績 4名 達成率 100% 目標対比±0名

プログラム在籍詳細

◇プレイヤーズ 3名

◇トランジット 1名

(3)選手実績 (2020年度末世界ランキング)

◇プレイヤーズ

目標

結果

松井俊英 D: 100位

D: 221位(Sでは世界最年長ランキング保持)

美濃越舞 S : 230 位 S : 745 位

荒川晴菜 S : 230 位 S : 395 位

◇トランジット

荒川夏帆 2021 年度よりツアー参戦予定

主な戦績

◇プレイヤーズ

松井俊英 D : ATP Cup 出場

美濃越舞 S : 全日本選手権 ベスト 4

荒川晴菜 S : 全日本選手権 出場

◇トランジット

荒川夏帆 大会出場なし

#### (4) プログラム強化

##### ① 世界で通用する技術・戦術・体力の構築

- ・基礎練習を多く実施し、ベースアップに取り組んだ
- ・フィットネスでは各選手の要望を取り入れ、メニューを作成・実施した
- ・フィットネステストを 1 回実施

##### ② ツアー帯同

- ・実施なし

##### ③ 東京五輪に向けた練習環境の向上（インドアコートの活用）

- ・hat ドーム 2 番コートを常時使用、アプリによる利用状況チェックを実施した

#### (5) スタッフ育成計画

##### ① 共通理解と認識の向上

- ・SOAP ノートの活用とアプリを使った選手との情報共有
- ・ジュニアトランジット選手との練習機会を増やし、コーチ間での意識向上を行った

##### ② コーチライセンスの取得

- ・取得なし

#### (6) 100 千円を超える支出計画と実績

11 月 全日本テニス選手権帯同 200 千円

実費 37 千円 (18%)

#### 【ハイパフォーマンス車いすプログラム】

##### 1. 総括

新型コロナウイルスの影響により東京パラリンピックは延期となった。またツアーの大会が開催されず、主にトレーニングを積む 1 年となった。年度後半からは徐々に大会が開催されてきたものの、感染予防の観点から安全を優先し遠征を見送る選手がほとんどであった。ホームでの練習を希望する選手が多かった。次年度は延期となったパラリンピックに向けて一

層前向きに取り組んでいきたい。

## 2. 実績

(1) 売上目標 8,360 千円 実績 8,402 達成率 100.5% 目標対比 +42 千円

(2019 年度実績 8,725 千円 前年度対比 - 323 千円)

(2) 在籍人数目標 5 名 実績 5 名 達成率 100% 目標対比 ±0 名

### ① 在籍選手詳細

◇ A カテゴリー 4 名

◇ トランジット 1 名

### ② 選手実績 (2020 年度末世界ランキング)

◇ A カテゴリー

	目標	結果
国枝慎吾	S : 1 位	S : 1 位
真田卓	S : 7 位	S : 10 位
荒井大輔	S : 25 位	S : 18 位
齋田悟司	S : 15 位	S : 28 位

◇ トランジット

	目標	結果
宇佐美慧	S : 20 位	S : 24 位

### (3) 主な活動

#### ① ゴールセッティング&プランニング

・各選手と担当コーチで試合のスケジュールに基づいた計画を立てるところであったが、ツアー大会の中止によりランキング目標に対してではなく課題に対して取り組む 1 年となった

#### ② ツアー帯同

・ツアー帯同の実績なし (ジャパンオープン中止)  
・三井不動産全日本選抜車いすテニスマスターズも開催が見送りとなった

### (4) スタッフ育成計画

#### ① コーチライセンスの取得

・1 名 : 障がい者スポーツ指導員の資格を取得した

### (5) 支出経費

・大会中止により帯同経費なし

## 【トーナメント】

### 1. 総括

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い 4 月～6 月の大会は中止、7 月～10 月の大会は規模を縮小しての開催となった。したがって当初の計画に対し下方修正を余儀なくされた。夏の関

東ジュニアテニスツアーは「ワンデイサマージュニアトーナメント」として1日で完結する方式で行った。その後の「TTCジュニア12・14・16才」は非公認大会として千葉県在住選手限定で行った。11月以降はコロナウィルス対策を行い通常通りの開催をした。各大会ともにコロナ対策を徹底し感染予防に努め、スタッフ及び参加者のコロナウィルス感染者は出さずに運営ができた。引き続き安心して参加できるトーナメントを運営していきたい。

## 2. 実績

ジュニアトーナメント	収入計画	収入実績
ヨネックスアーリーサマー	1,000千円	コロナのため中止
ブロッホカップ高校生	200千円	日程の都合で不開催
ブロッホカップ小・中2月	200千円	雨天のため中止
ブロッホカップ小・中5月	200千円	コロナのため中止
ブロッホカップ小・中7月	200千円	165千円(中学生・雨天中止)
ブロッホカップ小・中9月	200千円	198千円
全国選抜ジュニアテニス選手権大会	1,000千円	コロナのため中止
関東ジュニアテニスツアー	3,800千円	(※1) 469千円
TTC12・14才 オータム	1,000千円	(※2) 385千円
TTC16才	500千円	(※3) 139千円
ヨネックスオータム	1,000千円	1,376千円
ピーナッツカップ	10,000千円	9,272千円
TTC18才	500千円	460千円
ヨネックスウインター	1,000千円	660千円
TTC12・14才 スプリング	1,000千円	1,084千円

ジュニアトーナメント総額 14,700千円(下方修正後) 13,841千円  
 (2020年度 実績 20,056千円 前年対比 -6,215千円)

(※1) ワンデイサマージュニアテニストーナメントの収入=469千円

(※2) 非公認大会としての開催。また参加者も千葉県在住の選手に限定

(※3) ※2と同様

## 3. 活動実績

(1) 各公認大会の参加費は計画していたとおり、4,100円から4,300円への引き上げを行った。ブロッホカップ各大会は参加費を3,000円から3,300円に変更して開催

(2) 各業務の整理・視覚化に関しては引き続き改善が必要である。また、平野コーチの退職により1月より稲葉コーチが引継ぎ、そして2021年4月より新しく小俣コーチが加わったため、イベントの準備、進捗状況のスタッフ間での共有に関しては今後の優先事項である。

(3) 千葉県女子審判部の方々の協力により円滑な運営と質を保つことができた。

(4) 計画していた資格に関わる講習への参加はなかった。2021年度にC級審判員資格を取得予定。

## 【イベント】

### 1. 総括

年間84イベントを計画し、新型コロナウイルスの影響による中止が15イベントとなった。それに伴い大会・イベント協賛金目標19百万円に対し実績4,779千円(25.1%)と大型のイベント中止の影響が大きかった。

しかし、一方では中止のイベントに替えて新たなイベント実施も大きな成果であった。また、規模を縮小し感染予防を徹底した運営ができたことで他の施策に対策を生かしたことで後半は継続的に維持した。

### 2. 活動実績

◇A グレード《世界レベル・全国レベル・参加者250名以上でスタッフ全体が関わる》

〈イベント・トーナメント〉	〈開催時期〉	〈実施状況〉
かしわ国際オープンテニストーナメント	3/29(日)～4/5	中止
TTCチャンピオンシップス	5/4(祝月)	中止
ピヨピヨ親子ショートテニス教室	5/5、10/8、2/23	2回実施(148人)
全国選抜ジュニアテニス選手権大会	5月14～17	中止
レディースチームテニス	未定	中止
かしわスポーツフェスティバル	9/21(月)	中止
KAZUKO杯	12月	実施(76人)
TTC30周年記念式典	11/20(金)	中止
全日本選抜車いすテニスマスターズ	11/28	JPTTイベント
ラッフル抽選券	11/24～12/7	1,374千円
初打ち大会	1/3	実施(130人)

◇B グレード《関東レベル、参加者250名以内、スタッフが複数名関わる》

ヴァン・ヴェール	9/28	実施(50人)
プリンス関東ツアー	7/20～8/16	中止
北軽井沢キャンプ	7月	中止
バレンタインミックス	2/12・13	実施(72人)
サマーチームダブルス	7/11・12	中止
ピーナッツカップ	12/25～31	実施1,722人)

◇C グレード《参加人数に制限あり、基本イベント部門で運営する》

ヨネックスカップ	4・10・1月	2回実施
TTC ジュニア	9・10・1・2月	3回実施
ばらツアー	5月	中止
プロッホカップ	年4回	1回実施
津幡 YOU 遊ツアー	8/25～26	中止
試打会	5/6、11/23	中止
車いすテニスライオンズカップ	3月下旬	中止
賛助会ゴルフ	年3回	中止

◇D グレード《参加人数に制限あり、TTC 内部イベント》

サマーミッドナイトダブルス	7/18	実施(48人)
忘年バトルダブルス	12/28	実施(
柏たなかファミリーフェスタ	10月予定	中止
木更津ツアー	6月予定	中止
バイスクールツアー		中止
チャレンジマッチ	9・11・2月	3回実施(114人)
筑波山キャンプ・トレーニング		実施せず
JOP/TTC 千葉	年12回予定	8回実施

### 3.指導者育成事業(公益目的事業 3)

#### 【研修】

#### 1. 総括

新型コロナウイルス感染拡大により、スポーツセミナーおよびスポーツ科学セミナーの実施は見送った。次年度以降はオンラインでの開催も検討したい。MFA に関しては本部からの指導の下、少人数制にて実施した。スタッフ研修においては昨年同様必要な事項は概ね網羅できた一方、アウトプットの質の向上が課題であり、スタッフからの発信には引き続き取り組んでいきたい。

#### 2. 年間売上実績

実績 474 千円 (年度目標 2,197 千円 予算対比 21.6%、前年比 26.5%)

内訳：MFA 474 千円 (予算対比 108.5%、前年比 95.0%)

科学セミナー 0 千円

スポーツセミナー 0 千円

#### 3. 活動実績

##### A. スポーツ科学セミナー・スポーツセミナー

##### ① スポーツ科学セミナー：

- ・新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、開催を見送った

・次年度以降、オンラインでの開催やアーカイブ化も含めて新しい形を模索する

② スポーツセミナー

・新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、開催を見送った

・次年度以降、オンラインでの開催やアーカイブ化も含めて新しい形を模索する

B. クリニック/キャンプ/シンポジウム

① かしわ国際オープン・特別講演

・大会の中止により未実施

② 全国選抜ジュニアテニス選手権大会・シンポジウム

・大会の中止により未実施

C. リサーチ

① 全国選抜ジュニアテニス選手権大会 アンケート・参加者データ・マッチチャーティング

・大会の中止により未実施

② ピーナッツカップ アンケート (練習状況、使用用具メーカー等)

実施期間：2020年12月25～31日

活動実績：1,075名(男子671名、女子404名)の回答を得て、長塚部長より情報が整理・シェアされた

D. インターンシップ及び講師派遣

・講師派遣実績 36件

・10月に福岡リゾート&スポーツ専門学校より1名の実習生を受け入れ、雇用へと繋がった

・千葉県立矢切特別支援学校へ社会人活用として6回計18時間の指導を行った

・千葉県立柏陵高等学校野球部へ5回の指導を行った

E. スタッフ研修

① 新人研修及び研修会

・新入スタッフ2名に対し実施した

② スタッフ研修

・以下のテーマに沿って20項目実施、別途クリーンデー5回、研修フィードバック等8件実施した

・1月より研修の曜日を水曜日から月曜日に変更した

□What's TTC

TTC フィロソフィー、ミッションの共有      ボードメンバー

事業アセスメント      ボードメンバー

他事業視察      各スタッフ

施設メンテナンス・クリーンデー      穂積 M

□Skill & Knowledge

TTC のテニスの基本      長塚部長

サービスの基本      板谷企画主任



緊急時対応・応急処置	宇治野トレーナー
レッスンの質	古澤 AD・穂積 M
フィジカルの基本	吉部 AD
科学セミナー講師による講義	未実施

・11月のスポーツ科学セミナーの代替研修としてブラインドサッカー協会およびファンリテーターを招いてチームビルディング研修を行った

・TTCの事業に生かすべく同じく11月に11班に分かれて13施設の外部見学を行った

#### F. その他研修

##### ① アンチドーピングセミナーの開催

講師の派遣見送りおよび大会等の中止により未実施

##### ②各セクションで必要とされる専門的なセミナーの開催

・水曜朝（現：月曜日）のスタッフ研修の時間を使って累計6回実施した

##### ③MFA (Medic First Aid)

開催実績：4/12(日)未実施

6/13(土)新規→6/24～28でマンツーマンでの更新講習を実施(13名)

8/1(土)更新→8/26にスタッフのみ更新講習を実施(7名)

10/18(日)新規→9/26、27、10/17、18の4回で新規講習を実施(20名)

12/19(土)更新→12/13、21で実施(4名)

2/7(日)更新→2/26、27、28で実施(5名)

追加3/19、20で実施(9名)

・6月以降の講習会は感染症対策のため、座学はオンライン、実技は3名でマネキンの共有はなしの形で講習会を開催した

・スタッフ育成計画：1名がインストラクター資格を取得した

##### ④ ジュニア選手の両親へのインフォメーション・ライセンス関係

各セクションで全体ミーティングや掲示板等で情報を発信した

プレーヤーズプログラム : 岩見コーチ

選手育成プログラム : 穂積 M、森コーチ

フィットネス・研修プログラム : 吉部 AD

スクール事業 Tennis Play+Stay プログラム : 古澤 AD

ヴォランティア : サービス事業部長塚部長

コーチライセンス(ライセンス更新含む)・外部研修参加等 : ボードメンバー

#### 4. フィットネス・ケア事業 (公益目的事業 4)

##### 【フィットネス・ケア】

##### 1. 総括

新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月は休業となった。顧客離れや体力低下も心配されたが出来うる限りの対策を講じた上で再開した後は再びフィットネスに親しんでもらえた。育成ジュニアも休業中に課題を出すことにより自主的な取り組みにもつなげることができた。新規事業のわくわく運動教室は春のキャンペーンで良好なスタートが切れず、集客においては次年度へ課題を残す結果となった。

## 2. 売上実績

◇フィットネス部門の売上目標 20,798千円 (2019年度 14,847千円)

実績 15,178千円 (予算対比 73.0%、前年比 102.2%)

【わくわく運動教室】	実績	601千円	(予算対比 22.3%)
【トレーニング】	実績	2,641千円	(予算対比 105.9%、前年比 111.2%)
【ケア】	実績	927千円	(予算対比 145.2%、前年比 59.0%)
【遊育くらぶ】	実績	10,528千円	(予算対比 72.6%、前年比 100.0%)
【その他イベント】	実績	36千円	(予算対比 19.8%、前年比 18.5%)

## 3. 活動実績

### ①フィットネストレーニング

#### ◇ハイパフォーマンスプログラム

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響によりほとんどの遠征がなくなったが、その分継続的にトレーニングに取り組めた
- ・フィットネステストは10月に2名に対し1度実施 評価値 3.1

#### ◇フューチャーズプログラム

- ・コーチの担当選手のグループにフィットネスコーチを割り当てることで縦断的に課題に対して取り組むことができた
- ・休業中は動画を使って各自が自宅で行なえるトレーニングを処方した
- ・フィットネステストは1度のみ実施(4月は見送りで9月のみ) 平均評価値 3.3 (対象37名) (前年3.3)
- ・成績上位者について掲示を行なった
- ・TTCフィットネステストの結果を個々の成長曲線との照らし合わせは外注で継続中

#### ◇レベルアップコース

- ・フィットネステストは1度のみ実施(4月は見送りで9月のみ) 平均評価値 3.2 (対象22名) (前年3.0)
- ・休業中に動画を使って各自が自宅で行なえる運動課題を処方した
- ・基礎の運動能力の向上を目的としたチャレンジシートは月ごとに設定し多種多様な運動能力の養成に努め、選手も積極的に取り組んだ

#### ◇一般プログラム

- ・一般の顧客のフィットネストレーニング指導実績

延べ 595 回のプライベートフィットネストレーニングを実施した (前年度 478 名)

- ・ 4 月からのスタートを計画していたが新型コロナウイルス感染拡大の影響により実際には 6 月より実施した。集客の面では計画通りとはいかず、在席は 13 名に留まった。
- ・ 休業明けの実態に鑑み、今年度の実施は見送った
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の予防のため、フィットネスルームの利用定員は 7 名までとした

## ②ケア

### ◇ハイパフォーマンスプログラム

- ・ ケア利用延べ件数  
プレーヤーズ選手 168 件、車いす選手 147 件
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響によるトーナメントの一定期間の中止を受け、練習やトレーニングに制限が出る中で定期的なコンディションの確認とコンディションを保つための遠隔的なサポートを行った
- ・ 2020 年内の試合出場を断念した選手には、翌年からのツアーに備えて根本的なコンディションの改善や、コンディショニング/セルフケア習慣の見直しを行った
- ・ 東京パラリンピックへ向けての活動は大会の延期に伴い、直接的な活動はなかった

### ◇フューチャーズプログラム

- ・ ケガ件数 41 件 (前年比 +1 件)
- ・ 休業期間中は自宅で行うコンディショニングのメニューの提供を行い、自主的な取り組みを促した
- ・ 休業期間明けは、各選手の練習状況やコンディションにばらつきがあった為 6・7 月のケガが多く見られた
- ・ 形態測定は新型コロナウイルス感染症の影響で 4 月は見送り 9 月のみの実施となった (37 名に実施)

### ◇レベルアップコース

ケア相談利用延べ件数 4 件

- ・ 形態測定は新型コロナウイルス感染症の影響で 4 月は見送り 9 月のみの実施となった (22 名に実施)
- ・ 月毎に設定しているチャレンジシートには柔軟性の維持向上を目的とした課題を設定した

### ◇一般プログラム

ケア利用延べ件数 197 件

- ・ 4・5 月の休業期間は接触を伴うケアのサービスは行わず、6 月より再開した
- ・ 休業期間中は、SNS を使ったトレーニングやセルフケアの動画配信によりお客様の運動への意識を促した
- ・ ケアサービスを提供するにあたり、ケアルームの消毒や換気、マスクの着用やその場での検温など感染症対策を徹底した

#### ◇医療機関との連携

- ・以下の各医療機関の先生方に選手の診察や復帰へ向けてのサポートをいただいた
  - ・市立柏病院 池川先生 2件
  - ・順天堂大学浦安病院 森川先生 ジュニア期のケガの傾向についての意見交換

#### ③遊育くらぶ

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、4月5月は休業とし、6月より再開した
- ・屋外での活動を基本とし、雨天時などは屋内で換気と手洗いの徹底を行い活動した
- ・平均参加児童 23.6人(昨年度 17.2人)
- ・計9名のパートタイムで運営した
- ・昨年度3月に1名の嘱託スタッフが中型免許を取得
- ・基本的なバス運行は外部業者への委託により行った
- ・スクール生へバスの利用は8月より運行を開始し、計7名の利用があった
- ・4月より料金改定を実施した

#### ④イベント

- ・あそびの日は新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、8月まで開催を見送り、9月より再開した (平均参加者数 15.6人)
- ・かしわスポーツフェスティバル フィットネスブースの運営：未実施

#### ⑤スタッフの育成計画

- ・1名：MFAインストラクター資格を取得した
- ・1名：障がい者スポーツ指導員資格を取得した
- ・12月および3月にそれぞれ1名ずつ退職した

#### ⑥帯同トーナメント

- ・全日本選手権大会へは宇治野 T が帯同した

#### (5) 経費計画(10万円以上の支出)

- ・MFA指導者ライセンス取得(1名) 350千円

#### 【フロント】

##### 1.総括

春の入会キャンペーンでは緊急事態宣言に伴い休館となりキャンペーンが中断となった。達成率がアダルト 43%・ジュニア 26%・トータル 33%で終了した。

(2019年度春の入会キャンペーンではアダルト 130%・ジュニア 76%・トータル 92%)

秋の入会キャンペーンの達成率アダルト 140%・ジュニア 74%・トータル 93%となった。

(2019年度秋の入会キャンペーンではアダルト 88%・ジュニア 109%・トータル 101%)

秋のキャンペーンは昨年度とほぼ差は無く、無事に遂行することができた。

フロントスタッフの1名退職で3ヶ月間人員不足が続いたが一人一人の協力もあり業務に大きな穴があく事はなかった

## 2.実績

### (1) フロントのサポート力の強化

昨年度同様安定した対応が出来ている

4/11～6/3 新型コロナウイルス感染拡大の影響により臨時休館、春の入会キャンペーンも途中で打ち切りとなった。一方で秋のキャンペーンは通常どおり行う事が出来た。またテニスはコロナ禍でも可能なスポーツと位置づけられ、キャンペーン以外での入会者数は増加した。新型コロナウイルス感染拡大防止対策でフロントからもお客様に施設ご利用確認票のご記入やマスク着用等を促し、よりお客様に安全にご利用頂けるよう心掛けた。

### (2) マルチスキルの向上

5月の限定営業の際には電話受付、予約、売り上げ管理までのサポート、入会キャンペーンに向けたイベントのサポート等を行った。

### (3) TTC30周年記念式典並びに東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げる

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、東京オリンピック・パラリンピックの開催が延期となった。TTC30周年記念式典も同様の理由で中止となり、記念Tシャツ(デザイン2種類)のみを販売した。

売上金額：青色Tシャツ¥150,360- 白色Tシャツ¥43,000-

販売数：青色Tシャツ72枚 白色Tシャツ20枚

### (4) 外部セミナーの参加・人材育成

新型コロナウイルス感染拡大の影響でセミナーへの参加は見送った。

21年度の事業計画の為、2社施設見学を行った。

### (5) 安全管理

6月に応急処置のWEBテストを全員受講し合格した。

WBGTの計測を夏季期間中毎日3回行い、お客様にも情報を共有する事で熱中症予防に努めた。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、館内の清掃に加えフロント付近の消毒を毎日(日曜日以外)実施した。またフロント前の扉は常に開放し換気に努めた。

### (6) サービス力強化の為の情報共有と研修

お客様チェックシート( )内未完了件数

事故報告60件(4件)※救急搬送無し

〈足〉22件、〈手〉9件、〈頭〉3件、〈顔〉3件、〈眼付近〉9件、〈体調不良〉1件、〈熱中症〉12件、〈蜂・虻〉3件

お問い合わせ11件

ご要望20件

クレーム35件

サンキューメッセージ45件

顧客情報23件

その他 73件〈コート整備タオル22件、頂きもの36件、他15件〉

ユーザーズボイス 20件 (0件)

お問い合わせ 8件

ご要望 6件

サンキューメッセージ 2件

休会申請 4件

#### (7) ショップ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、展示会への参加を見合わせ、カタログでの注文を行った。また在庫商品をセール価格販売で提案実行した結果、お客様にはご好評いただき売上に貢献できた。売上金額：¥387,900-

新人の採用と研修

12月末に1名退職。合わせて求人募集を行った結果、3月末に1名採用が決まった。

### 3.経費実績

なし

## II 収益・その他事業

### プロショップ事業（収益事業1）

#### 1. 総括

新型コロナウイルスの影響により4月9日より事業を休業することになり、5月も通常物販は行わないというスタートであった。そのような売上の大幅減を踏まえ、プロショップの売上及び仕入計画を事業継続の観点から見直しを行い、事業規模を縮小する中でサービスを提供した。2020～2021年のラケット在庫は極力控え、展示会でのウェア注文は中止した。夏以降は、休業することなく感染症対策をする中で物販に取り組むことができた。

そして在庫処分に取り組み2020年3月末在庫10,833千円（3387点）を2021年3月末6,393千円（1820点）にまで縮小することができた。

ここ2年続くスクール会員の微減は進んでおり、売上の増は見込めず、ほぼ計画通りの売上で2020年度を終えた。

#### 2. 実績

(1)売上予算計画 23,000千円 売上実績 17,867千円（予算比77.7%・前年比85.6%）

内訳

ラケット	4,300千円
ガット・加工代	5,494千円
シューズ	2,061千円
ウェア	2,177千円
アクセサリ	1,873千円
その他	1,962千円

(2)仕入予算計画 13,300 千円 仕入実績 9,680 千円 (予算比 72.7%・前年比 55.4%)

### 3.活動報告

#### ①試打会協賛メーカー・イベント協賛メーカー

ラケット・シューズ・ガット・ウェア・アクセサリーの提案

4~5 月未実施

6~11 月実施済 (月に 2~3 社合同開催)

感染症対策グッズとしてマスク・フェイスカバー・フェイスガードなども販売

#### ②試打会

5・11 月中止

代替のラケット販売キャンペーン実施

6-7 月 57 本販売/11-12 月 41 本販売

#### ③ガット関連

ガット張り替えキャンペーン→年 3 回期間張替目標 1,100 本

1222 本 (6-7 月 404 本/10-11 月 397 本/2-3 月 421 本)

#### ④DM による商品割引

バースデーカード割引 (ラケット・シューズ・ウェア)

休業期間の 4-5 月のバースデーカードを 7 月末まで対応

ラケット 13 件/シューズ 42 件/ウェア 11 件

年賀状割引 (ラケット・シューズ)

ラケット 10 件/シューズ 11 件

ジュニアの 카테고리 変更割引 (ラケット・シューズ)

未実施 (店頭の特価品で対応)

#### ⑤LPJ での商品紹介

ラケット・シューズ・インソール・高機能ソックス・サブリなど

7 月ガット張り替えキャンペーン

8 月ミズノシューズお試し会実施

9 月バボラピュアドライブデモラケット設置

10 月ガット張り替えキャンペーン

2 月プリンス・ヨネックスデモラケット設置

3 月ヨネックスシューズお試し会・プリンス試打&PINKION お試し会実施

#### ⑥イベントでの商品販売

ピヨピヨショートテニス教室販売 (年 2 回: 11・2 月)

5 月中止/11・2 月実施

レディースチーム中止・KAZUKO 杯 実施

Le Club イベントでの販売

8 月ミズノシューズお試し会

3月ヨネックスシューズお試し会・プリンス試打&PINKION お試し会実施

⑦在庫一掃セール及びブース販売

下期11-1月フロントスタッフの協力により在庫407点販売

期末特価ラケット販売14本

初打ちでのオリジナル福袋販売(メーカー別)

28点販売

⑧SAのお知らせメッセージの活用

月間フェア・キャンペーン・セールの案内

※フェイスブックやホームページへは不定期にて掲載

ガット張り替えキャンペーン・ラケット販売キャンペーン・ラケットやストリング特価

案内実施・月間フェアの案内実施・デモラケット入荷案内実施

⑨不定期販売イベントの開催

ラケット・足型計測会

インソール計測会/お試し会なども開催予定

ミズノシューズお試し会実施

吉田コーチによるバボララケット試打会実施

PINKION お試し会実施

⑩インソール販売強化

販売知識の共有と販売協力

未実施

⑩販売促進

POP作成→納富コーチ・フロントスタッフ

実施済 納富コーチ退職によりシューズPOPはフロントスタッフ

フェア案内は古中が作成

展示会→契約コーチ・フロントスタッフ

展示会ウェブ中心に開催済

ウェアブランドのフロントスタッフ参加中止

従来通り出張する展示会バボラ・ブリヂストン(テクニファイバー)・テクニファイバ

ー3社参加

4. 契約について

2020年度のコーチ契約

新規及び契約入替2人

吉田コーチ・千代コーチ 契約完了

ブリヂストンスポーツ/テニス事業撤退により

碓谷コーチ →テクニファイバー契約

小林コーチ →バボラ契約



ジェイソンコーチ →ヨネックスからテクニファイバー契約

## 5. 経費計画

ストリングマシンは故障しなかったので未購入

ガット張り工具・ディスプレイ用備品 (10 千円)

(1) ガット張り工具・ディスプレイ備品予算 10 千円

実績 張り機用クリーナー・除菌スプレー	2 千円
ビニール袋張り替えラケット用	1 千円
結束バンド	1 千円

## VI. 賛助会 (Le Club TTC) 事業 (収益事業 2)

### 【賛助会】

#### 1. 総括

今年度は新規個人賛助目標の 60 人に対し、54 人の方にご入会頂いた。目標には届かず総会員数 541 人となった。継続率は 89.8%である。練習会は 4・5 月がほぼ休館だったため正確には比較できないが、月平均を 12 か月換算すれば延べ 4,027 人と目標の数値を上回っている。法人賛助新規入会は 1 社、退会が 1 社であった。

#### 2. 実績

(1) 賛助会費	予算 27,000 千円	実績 26,109 千円	96.7%
(2) 新規会員実績			
法人賛助会員	計画 2 社以上	実績 1 社	
継続率		実績 96.6% (30 社から 1 社減)	
個人賛助会員	計画 60 人	実績 54 人	
継続率	計画 91%	実績 89.8% (54 名退会)	

#### 3. 活動報告

##### (1) Le Club TTC の活性化

平日月例 7 回開催 95 人

平日月例スペシャル 2 回開催 15 人

チーム対抗戦 1 回開催 48 人

トリプルストーナメント 192 人

年間 MVP の表彰と掲示をおこなった

##### (2) 練習会ガイドラインのアップデート

練習会の内容の統一のためにアップデートをおこなった

##### (3) 練習会参加者集計表のアップデート

2021 年度から運用開始する

##### (4) 新規入会、継続のお願い

① スタッフの賛助会入会、継続のお願いをした

- ②Le Club TTC へ入会のご案内を各担当コーチより行った
- ③未継続者への継続のお願いを各担当コーチより行った
- (5) 賛助会ゴルフ
  - コロナ禍で見送っていた賛助会ゴルフを3月に開催した
- (6) その他
  - ①税額控除の説明を繰り返し行い、受益者負担軽減から入会に繋がるよう努めた
  - ②事務の簡素化を図り継続率の向上に努めた
  - ③継続（10年）していただいた方に感謝の意を込めてお礼状と記念品を贈呈した  
また継続者すべて TTC ニュースにお名前を掲載しお礼と合わせて送付した  
10年を越して賛助会継続 18人

#### 4. 経費計画（予算計画・年間100千円超える支出）

- (1) 銀製ネームプレート作成
  - 10年を越して賛助頂いた方々に名入れ銀製ネームプレートをお送りした  
2020年使用分 18個 378千円
- (2) アクリルネームプレート本体作成
  - 新規入会者掲示用のプレート本体の在庫が少なくなったため作成した  
100枚 132千円

#### 5. その他

- (1) Le Club TTC 入会申込書の見直しをおこなっている
- (2) 練習会予約方法の見直しをおこなっている

### 【ヴォランティア】

#### 【総括】

コロナ禍において、例年ヴォランティアをお願いしているほぼすべてのイベントを中止した。そんななかではあるが、おはようキッズ、ピヨピヨ親子テニス教室（11月・2月）では強化の子どもたちを中心に変わらぬお手伝いをいただいた。また秋以降はジュニアトーナメントが再開され、ジュニアのご父兄にお手伝いいただいた。

#### 1.活動報告

- (1) ヴォランティア講習会はすべて見送りとした
- (2) イベント、トーナメントへの協力
 

①ピヨピヨ親子ショートテニス（11/3 14人、2/23 23人）	合計 37人
②おはようキッズテニス（40週）	合計 151人
③楽楽テニスのグループリーダー毎水曜日（18週）	合計 108人
④ジュニアトーナメント、イベント等の運営（9大会）	合計 20人

⑤ピーナッツカップの運営サポート、ロービング等	10人
合計	326人

(3) 皆様方への情報提供と協力

- ①M.F.A の取得の呼びかけを実施した。
- ②ボランティア掲示板を活用しご案内をした。

【Le Club TTC】

1.総括

練習会参加者目標 4,000 人に対し 3,429 人という結果となった。4・5 月を抜くと 10 か月の月平均 3,356 人であり、これを 12 か月に換算すれば 4,027 人である。コロナ禍にあってツアー関係はすべて、その他ほとんどのイベントを中止にした。また夜の練習会の終了時間を 23:30 に繰り上げた関係で、該当する練習会の参加費を当面 1,500 円にした。LPJ においてもお茶会を見合わせている。一方で事業計画になかったトリプルストーナメントと LPJ チーム対抗戦は集客 100%と賑わいをみせた。

2. 収入実績

(1) 年間売上目標 10,066 千円

実績 5,911 千円 達成率 59.5% (2019 年度 実績 8,074 千円)

(2) 練習会目標 (クレサンチーム・トリプルストーナメント含む) 7,356 千円

実績 5,172 千円 達成率 70.3%

(3) その他、イベント&ツアー目標 2,710 千円

実績 739 千円 達成率 27.2%

3. 練習会の実施と参加人数実績 (月例・LPJ 含む)

(1) 実施月	月次合計	2019 年度比較
4 月	73 人	-315 人
5 月	0 人	-359 人
6 月	319 人	-62 人
7 月	359 人	-32 人
8 月	334 人	-33 人
9 月	313 人	-77 人
10 月	401 人	76 人
11 月	303 人	-14 人
12 月	304 人	79 人
1 月	271 人	-48 人
2 月	347 人	-11 人
3 月	405 人	34 人
	計 3,429 人	(2019 年度比較 -762 人)

(2) 月例バトル実施

- ①木曜月例シングルス 計 134 人 (2019 年度比較 -4 人)
- ②月曜月例ダブルス 計 202 人 (2019 年度比較 +9 人)
- ③土曜月例ダブルス 計 243 人 (2019 年度比較 +32 人)
- ④平日月例ダブルス 計 95 人 (2019 年度比較-102 人)

(3) 土曜 LPJ の実施

6・7・8・9・10・11・2・3 月 8 回実施

3 月はグローブライド様の試飲会・試打会をおこなった。お茶会は見送っている

計 294 人 達成率 105.2%

(4) 水・木曜 LPJ アビコチームとの交流及び対抗戦

7・11・2 月 3 回実施 計 56 人

(5) イベント&ツアー実施

①春 ヴァン・ヴェール 中止

②秋 ヴァン・ヴェール

9 月 28 日 計 30 人 収入実績 232 千円 達成率 72.5%

③トリプルストーナメント

7・9・11・1 月 4 回実施 計 192 人

④月例 SP

7 月 5・12 日 計 15 人

⑤サマーミックスダブルス 中止

⑥バレンタインミックス→遠方からの来館防止のため TTC TEAM MATCH に変更

2 月 13 日 計 72 人 収入実績 252 千円 達成率 46.3%

⑦ミッドナイトバトルダブルス

7 月 18 日 計 48 人 収入実績 95 千円 達成率 120.2%

⑧忘年チャリティバトルダブルス

12 月 28 日 計 76 人 収入実績 160 千円 達成率 150.9%

⑨初打ち大会

1 月 3 日 計 130 人 (午前午後 65 名ずつ縮小募集)

⑩クレサンテーム

計 78 人 収入実績 39 千円 達成率 81.2%

⑪ノルディックウォーク 中止

(6) TTC 外部トーナメント

①新春シニアテニス大会 (千葉県シニアテニス連盟主催) 中止

②柏市クラブ/事業所対抗 (柏市テニス協会主催)

クラブ事業所対抗戦前期大会 8 月

クラブ事業所対抗戦後期大会 中止

③柏市民大会及び選手権大会（柏市テニス協会主催）

春季市民大会 中止

夏季市民大会 7月

秋季市民大会 10月

④千葉県クラブ対抗（千葉県テニス協会主催） 中止

上記外部トーナメント、賛助会員/Le Club 会員多数参加

(7) 国内外ツアー

①ばらツアー 中止

②木更津ぼんぼこ大会ツアー 中止

③津幡 YOU 遊ツアー 中止

④オーストラリアンオープン観戦ツアー 中止

## II 管理部門（法人会計）

### 【管理】

#### 1. 総括

期初から2名体制を維持し、且つ期中に管理のアシスタントマネージャーが定年退職（嘱託に移行）となったが大きな事務事故も無く、途中1ヶ月に及ぶ休業があったものの日々の管理業務を粛々と維持した。新型コロナウイルスの感染拡大と苦難が続いたが、作業の効率化や経費の削減など計画に沿って取り組めた。

#### 2. 実績

##### (1) 業務委託について

①社会保険労務士は、既存の給与計算に限定した委託を見直し、年間600千円の経費削減を図った。一方で、新規に相談委託業務として新たな顧問先を契約し8月の就業規則見直しなど毎月の打合せを実施できた。本格的な、制度改正に向けて毎月のリモート会議を実施するなど精度を上げて取り組んだ

②業務契約の見直しにより、若干の経費削減は図れた。寧ろ、既存の業務内容に加え決算に向けたアドバイス・指導を強化することができた。

##### (2) クラウド会計への移行

クラウド移行後初の決算業務を完了し、計画的に準備を進めた事により、業務負担が約15時間程度軽減・効率化できた。

##### (3) 30周年記念事業

30周年記念パーティーの開催は延期とした。

##### (4) 勉強会の実施による知識向上と効率化の推進

①Web 動画 [給与計算マニュアル] をスタッフが個別に視聴する勉強会を実施した

②外部のホスピタリティセミナー(オンライン)を受講し対応力を上げた

##### (5) 他部門との連携

イベントサポートについては、柏エール・WJP・ピーナッツカップ・初打ち・落語会をサポートし新たな取組を経験することは今後に大きな成果であった

#### (6)役員会のサポート

理事会と評議員会併せて6回の開催をサポートし、議事録を含め問題無く対応した

### 3 経費実績

①人材育成（セミナー参加費）：5千円

## 【広報】

### 1. 総括

第一回目の緊急事態宣言が解除になった後の6月、テニス界の活動復活を印象付けた『チャレンジテニス』のWOWOW無料放映は、TTCにとって新たな事業形態による可能性を感じさせるイベントとなった。

同様にGAORAやチバテレビのYouTube配信など、Webからの情報発信が加速した1年となった。

### 2. 活動実績

#### (1) PR活動

①リスティングを休止し実績比較のデータ取りをし、新型コロナの影響について比較できるデータはとれなかった。

LINEについてはTTCのお客様向けと外部向けLINE@の2種類を考え2,000名の登録を目指したが、登録者は500名であった。

#### ②掲示板からのインフォメーション

フロントの協力を得て、第一駐車場掲示板の適時更新を行った他、コロナ対策については対策本部を立ち上げ館内表示・掲示とその更新作業を行い施設からの感染者発生はゼロであった。

#### ③プレスリリース

柏市へ個別イベント『大賞受賞』報告の表敬訪問をし、柏記者クラブへプレスリリースを行った。2社からニュースの発信がされた。(朝日新聞、J:COM)

#### ④エリア戦略の推進

コロナのため、ポスター内容の更新は見送りとしたが、柏駅デジタルサイネージから、『かしわスポーツフェスティバル2020動画』を9/28から配信した。

#### (2) Webからの情報発信について

①上半期を目標にホームページの見せ方を改善していく予定であったが、下半期からのスタートとなった。2021年1月から外部コンサルティングの協力も得て、2021年9月23日を目標に全面リニューアルするリスケジュールを行い現在進行中。

②コロナ関連のお知らせについて、適時ホームページの重要なお知らせでインフォメーションからの発信をした。

### ③SNS の活用

インスタグラムでは、自粛中に出来るストレッチなどの軽運動の動画を発信し、同様に柏市の”ウチトレ”サイトへ協力するため動画制作をおこなった。FB ページからはコロナ渦における TTC 利用のインフォメーションを適時発信した。

また、新たに育成プログラムのためのインスタグラムも 2021 年 1 月にスタートし、ジュニアのご父兄へのインフォメーションの一助とする取組もスタートした。

### (3) 各セクションとの連携

各セクションと協力しながら、かしわスポーツフェスティバルや 30 周年記念の動画制作をサポートし、WJP など新たなイベントも成功裏に実施することができたことで、TTC の認知度とブランドイメージのアップを図るとともに、これからの社会貢献活動にも繋がっていくことを実感した。

また、トリプルスプロモーションビデオとして、紹介編と戦術編の 2 本を制作した。

### (4) TTC ニュース

9 月と 3 月に企画セクションの協力を得て『選手近況報告』と『世界とラリーする』の 2 つの特別号を発刊した。『世界とラリーする』号は、企業への説明ツールとして活用することも考えて制作した。

### (5) 30 周年記事

記念式典での DVD 配布を予定していたが、式典が中止となったため、12 月末に Web 公開とした。

また、大阪体育大学の教材としても活用された。

### (6) 外部団体との協力

外部団体主催イベントに協力し、TTC をテレビや Web により広く露出することができた。

①チャレンジテニスは 6/28, 29 の両日の再生数が、WOWOW オンデマンドで 15 万、YouTube で 7 万の再生であった。

②8/1 の POWER CUP+イベントからの YouTube 動画配信 7 本は、9 月末までにトータル 24 万の再生回数となっている。

③WJP イベントも、GAORA よりライブ配信し、当日の視聴が約 5,000 人となった。

その他、パラサポ Web より 9/14 に『日本の車いすテニス、強さの源泉とは?』の記事で TTC が紹介された。

### (7) 経費報告(単位:千円)

- ① 看板広告料・・・ 58 千円 (1 箇所)
- ② TTC NEWS・・・ 495 千円 (2 回分、前年比△263 千円)
- ③ 柏の葉ポスター・・・ 832 千円 (柏の葉/年間)
- ④ HP 保守費用・・・ 1,584 千円 (年間保守契約)
- ⑤ コートバナー・・・ 125 千円 (10 枚)

## 【企画】

### 1. 総括

年間協賛金実績は計画 18,700 千円に対し 4,778 千円と計画比 25.5%と未達。コロナ禍、10 月までのイベント・トーナメントは全て中止、10 月以降も既存のイベントトーナメントは 2 トーナメント（KAZUKO 杯・ピーナッツカップ）のみ実施。そのような状況下、スポーツの価値創造に共感したプロや団体等の協力のもと、新規で 2 イベントを実施し協賛企業や協力団体との繋がりを保てた。新型コロナ感染予防を徹底し、安全安心なテニス、スポーツライフを通じた多様性をもったウェルネスに取り組めた

### 2. 実績

協賛金目標 19,000 千円 実績 4,778 千円(達成率 25.5%) 前年比△13,922 千 (かしわ国際 550 千円/スポーツフェスティバル動画 (新規) 400 千円/KAZUKO 杯 410 千円 ピーナッツカップ 715 千円/WJP (新規) 2,650 千円/その他 53 千円)

イベント企画ノウハウ販売目標 300 千円 販売予定 (柏の葉、おおたかの森) イベントはコロナ禍の影響を受け中止となった

### 3. 活動実績

#### 【サステナビリティの追及】

#### (1) 内外部からなるプロジェクトチームを編成し集客・収支向上に繋げた

- ①スポーツフェスティバル⇒スポーツフェスティバル関係者によるダンス動画を作成し協賛金 400 千円の獲得となった

内容：今だからこそ！我々スポーツフェスティバルにできることがある！“柏エール歌”に合わせて“柏エールダンス”を作成し“かしわスポーツフェスティバル”に係る全ての人たちと踊り、繋げて、ひとつになろう！そして、子供たち、全ての人々へ夢と希望を！元気と笑顔を届けよう！

再生回数：TTCYoutube 2022/4 現在 992 回（配信開始 3 週間で 720 回・柏市 HP 1 週間で 35 回）柏駅、デジタルサイネージで放映

柏市ホームタウンのスポーツチームや他団体との繋がりもサステナブルな活動ができた

- ②WJP（～プロテニスプレーヤーが本気を伝える！～Wheelchair Junior Professional Challenge Tennis Presented by 三井不動産）

全日本選抜車いすテニストーナメントが中止となり、TTC を練習拠点とする松井俊英選手、荒井大輔選手（車いす）、美濃越舞選手、古賀理事を実行委員に迎え実施。協賛金 2,650 千円

内容：コロナ禍①延期となった東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、スポーツの機運を落とすことなく「スポーツの価値」を創出し続ける ②国内外のスポーツトーナメント・イベントが軒並み中止・延期となり計り知れない戸惑いや喪失感の中頑



張るジュニア選手達、本気でプロを目指すジュニアたちに プロ選手から本気を伝える  
③TTC を練習拠点とするプロ選手たちが中心となり、今だからできること、やるべき  
使命を次世代に伝える、繋げる、続ける

#### ④GAORAYoutube から配信

再生回数：当日 (11/28)4869 視聴 (3 日後で 1 万視聴越え 2021/4 現在 16.126 視聴)  
その他：テーマとして『地域創生・地域貢献』『テニスの普及』があり、中長期的な  
計画として WJP 日本行脚、テニスを通じた地方の活性も狙う。また、将来的にプロ  
のセカンドキャリアのサポート機能をもたせることが出来ればと考えている

- (2) 顧客（個人・企業・団体）ロイヤリティの向上を図った  
コロナ禍でもお客様の心身の健康を保つため、4.5 月の休業中にレンタルコートやプ  
ライベートレッスンを実施。予約受付、支払い請求と締め作業他管理の協力をした  
(チームワーク)
- (3) PR 部門と協力レスポンスメリットの拡充（見える化）を図り、協賛・協力先を増  
やした。イベント動画に各企業社屋と社員の皆様の笑顔の映像を取り入れ、今まで  
にない露出に多方面からの反響があった。新規イベント WJP は、GAORA やテニス雑誌  
等メディア露出に力を入れた。ユーチューブで 1 万越えは TTC 初であった。
- (4) 各イベントの質的向上（ヴォランティア・協力団体の拡大等）を図った。既協力団体  
から動画撮影に協力したいとの声をいただき 28 団体に出演いただけた。また、女子  
バスケット日本代表選手よりメッセージをいただけたことは、価値を高められた。  
コロナ禍、スポーツの街『かしわ』を PR できた。
- (5) 培ってきたネットワークを駆使し、TTC の新規顧客（レッスン、協賛、協力）の拡大  
を図った。イベント動画に、柏市からの紹介により新しく 1 団体の協力を得た。  
(NEC グリーンロケッツ) 来年のスポーツフェスティバルやその他イベントに協力を  
いただけることとなり更なる価値向上へと繋げた
- (6) 地域貢献として、柏たなか（セナリオハウスパーク）で秋キャンペーンに合せてイ  
ベントを実施。コロナ禍、想定以上の来場者数（目標 300 名/実績 800 名）があり、  
秋の入会キャンペーンに繋がるべく施策（外部イベントから TTC プログラムへの  
誘導）を講じ効果がでていた。また、コロナ禍スポーツでの街づくりをキーワード  
に協賛企業の地域貢献を PR できた。引き続き、参加率、入会率の高い柏たなか地区  
へのアプローチは定期的実施し開拓の強化を図る  
【柏たなか地区からの体験、入会】 2020/10/3～11/14  
おはようキッズ体験 柏たなか率 39% 22 名 (柏たなか) /56 名 (全体)  
普及クラス体験 柏たなか率 27% 16 名/60 名  
普及クラス入会 柏たなか率 18% 12 名/65 名
- (7) 地域貢献活動の推範・協力は、コロナの影響で軒並み中止となった  
柏オークライオンズクラブ・柏創生ライオンズ (9 月/田中神輿まつり) 中止

花野井町会イベント（全中止） ゴミゼロ運動 （5月）

香取神社神輿祭り （7月）

花野井ふれあい祭り （8月）

芋煮会、防災訓練 （11月）

(8) 企画力や対応力向上に努めた

地域の広報担当者と交流を図り、アドバイザーとなっただき TTCPR チームと web リニューアルの取組みをスタートさせた

(9) 支出

①11 件/110 千円の地元協力金（全中止）

②イベント視察 30 千円（全中止）

(10) その他

①30 周年記念動画をプロジェクトメンバーとして制作した。制作会社との窓口として PR と協力し見応えのある記念動画を作成できた。TTCyoutube の再生回数も 323 回と TTC ではトップの再生回数を獲得できた

②web リニューアルは既存の HP の現状改善のみならず、30 周年の節目で TTC の今後の発展を見据えた最善の改善、組織全体の活性や事業展開の促進へ良ききっかけづくりとなった。TTC の理解を深め的確な現状把握を分析をし、広い視野をもった取組みをしている（2021 年度も継続中）

## 【施設管理】

### 1 総括

新型コロナウイルスの影響により 1 か月間の休業があり、例年ご利用いただく団体レンタルが軒並みキャンセルになるなど影響がでたが、スポットで撮影使用の高額レンタル予約が多数入ったため売り上げは過去最高額を達成する事ができた。また先行きの不透明感から、各種工事や設備投資の実施を急遽最低限にとどめたため当初計画に対して実行予算は 39%にとどまった。

次年度以降で計画に従い実行すべく準備をすすめていきます。

### 2 収入・予算計画と実績

収入計画 4,500 千円（レンタルコート使用料）

実績数値 7,322 千円 達成率 162%

### 3 活動実績

#### ①空コートを有効活用

JOP 大会を 2020 年度は 12 回開催予定で申請し認可されたが、緊急事態宣言発令に伴い、予定されていた 4 大会を中止したため売上見込みを下回った。

収入計画 12 回実施 売上 684 千円

活動実績 8 回実施 売上 716 千円（達成率 66%） 平均 89 千円

## ②外部イベントにレンタル

2019 年度利用いただいた団体様の次年度の仮予約を取り付ける

コート稼働率アップについて

(目標稼働率) (6 時～24 時)

2020 年度 インドアコート 85% 70.3%

アウトドアコート 58% 44.1%

コロナウィルスの影響で例年ご利用いただいていた団体はほとんどがキャンセルとなった。臨時のイベントを開催し稼働率をあげる施策を実施したが、レッスン数の減少により大幅なマイナスとなってしまった。

## ③早朝の活用

早朝の空きコートを稼働させる為テニプロとの年間契約締結した

収入実績 807 千円

## ④サービスエース(会員システム)の掲載

予備日特別料金が周知され、年間を通じて安定して予約が入るようになった

## ⑤ドームの稼働率アップ

会員を中心にレンタルコートとして貸出し稼働率アップと売上を確保した

収入実績 2,073 千円

## ⑥イギリス車いすテニスチームのキャンプ

2020 年 8 月 20 日～24 日 9 時～17 時で実施予定(ナイトセッション含)

晴天時アウト 3 面(雨天時インドアコート 1 面)使用予定であったが

新型ウィルスにより延期 2021/8/19～2021/8/23 予定

## ◇経費管理について

(経費総額 8,000 千円を目指す) 実績 9,585 千円 (達成率 158%)

印刷代と電気料金の単価見直しにより 1,108 千の経費削減を実現したが  
厨房にレストラン業者が入居しガス料金が大幅に増えたことで総経費は  
大幅増となってしまった。

## ◇システムの維持管理・改良

コロナ休業による収入減を勘案して、緊急性の高い 4 台のみ入替え済み

## ◇建物の維持管理

5 年計画に基づき館内エアコンの入れ替え作業を継続しショップ・事務所のエアコン  
を交換済み

インドアコートシャッターのバネを交換し誰でも開閉可能とした。

## ◇設備関係

イベント用長机購入(10 本)を追加購入済み

創業以来使用していた会議室のイス 100 脚を新品交換した

## ◇各種団体への募金(目標総額 400 千円)

以下の5団体に2021年1月末 462千円寄付済み

- ①公益財団法人 日本ユニセフ協会
- ②公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン(WWF)
- ③乳癌撲滅啓蒙運動
- ④TTC ジュニア基金・TTC 車いすテニスすみれ基金
- ⑤柏市医師会

☆企画部門のサポート

地域協力団体との協調の為、地域イベントのサポートを行う予定であったが各種行事の中止により未実施となった。

4 その他経費計画と実績

	経費計画	経費実績
館内清掃	420千円	49千円
駐車場定期点検	240千円	240千円
会員カード	540千円	440千円
メンテナンス費用	600千円	547千円
ブロー購入	300千円	63千円
サーバー機器	2,200千円	0円
パソコン入替	2,400千円	688千円
水道フィルター交換	180千円	180千円
エアコン交換	1,300千円	1,041千円
インドアシャッター補修	1,200千円	1,111千円
白イス・白テーブル	150千円	0千円
長テーブル	90千円	180千円
一部館内LED化	2,000千円	0千円
年間合計予算	11,620千円	4,539千円

【経営その他事項】

1.総括

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、4月9日から5月6日まで事業の1ヶ月休業やイベント・大会の中止を余儀なくされ全ての計画が大幅に変更となった。しかし、TTC全体では各所に亘り代替施策を試み全員で取組んだことで、大きく売上予算を下回ったものの、費用の管理を徹底したことで収支の他運営全体を維持した。期中、13名の退職もあり一部レッスンの統合やスタッフの複数職務を見直し実施する等清々と事業を進めた。

感染者が一人も発生しなかった点では、運営全般に亘り徹底して取り組んだ成果と言える。

## 2.活動実績

### ①役員会の運営について

理事会や評議員会は、年間計画を予定通り各々書面表決で実施することができた。

また、臨時の理事会・評議員会も含め事業の変革(遊歩道建設計画)に対応した。

### ②制度の見直し

就業規則の見直しは、6月から8月に掛け社労士の指導を受けながら変更実施した。

但し、抜本的な改定や新たな規程の策定を2月から着手し5月完了となった。

### ③内閣府宛て一般正味財産の見直し

内閣府の指導を頂き、特定費用については継続延長の対応で進めた。

### ④30周年記念事業について

新型コロナウイルスの感染拡大により、30周年記念感謝の会は中止とした。

しかし、記念Tシャツの制作配布を行った他、記念誌に替えて記念動画DVDを制作し感謝を伝えることが出来た。また、施設のリニューアルのベースプランとして、施設全体の将来図を描き、より具体的に未来図を全スタッフで共有出来た。

### ⑤柏市との連携と協力等

固定資産税の遡及については、7月に還付金13,980千円が入金となり大きな成果であった。引続き、交渉の余地を残しており継続交渉を続けて行く。

各種イベントについては、コロナ禍全てが中止となり市との共働は出来ていない。

しかし、年末のラッフルチケットの協力では新型コロナウイルスの医療関係者への寄付として柏市医師会宛300千円の寄付を実施した。

雇用調整助成金や補助金については、総額10,850千円の申請が認可された。

以上